

DC モーター フルリモコン壁掛け扇風機

型番

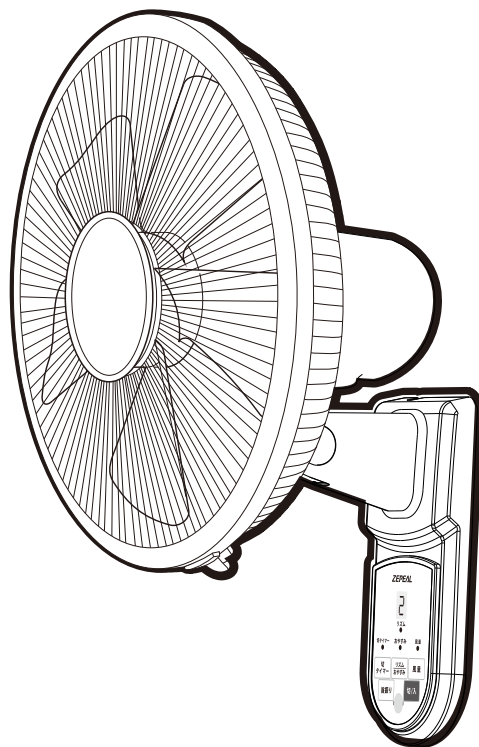
DDK-A3521

保証書付

[1.2.4 時間切タイマー][リモコン付]

[羽根サイズ 30cm]

このたびは本製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
本製品は家庭用として作られています。本来の目的以外や、異常な環境下で使用しないでください。故障の原因になります。






もくじ

安全上のご注意	1-2
各部の名称	3
使い方	3
組み立て方	4-5
取り付け方	6
操作の仕方	7-9
お手入れと保管	10
長年ご使用の製品はよく点検を	11
長期使用製品について	11
アフターサービス	12
仕様	12
MEMO	13-14
保証書(持込修理)	15





●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。
●本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることにより生じることが想定される内容を〔危険〕〔警告〕〔注意〕の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。





 危険	取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例




-   このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
-   このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

※お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでもお読みいただける場所に必ず保管してください。

危険








 絶対に分解や修理・改造をしない ●発火したり、異常動作したりしてケガをする恐れがあります。 分解禁止	 傷んだ電源プラグや電源コードは、絶対に交換・分解・修理・改造をしない ●火災や感電の原因になります。電源プラグや電源コードが破損したときはただちに ご使用を中止し、当社サービスセンターに ご相談ください。 
 湿気が多いところや水のかかるところへの設置は避け、水につけたり、水をかけたりしない ●ショート・感電の恐れがあります。 水ぬれ禁止	

警告







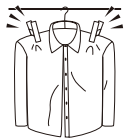


 AC100V以外では使用しない ●火災・感電の原因になります。	 髪をガードに近づけすぎない ●髪が巻き込まれてケガをする恐れがあります。
 羽根・ガードをつけずにモーターを運転させない ●ケガをする恐れがあります。	 本体の上に布類や衣類をかけない ●故障の原因になります。
 使用中（羽根の回転中）に、ガードを持って、上下・左右に風向きを変えない ●ガードを持って操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。	 風を長時間、身体にあてない ●健康を害することがあります。
	 ガードの中や可動部へ指などを入れない ●ケガをする恐れがあります。 禁止

安全上のご注意

警告

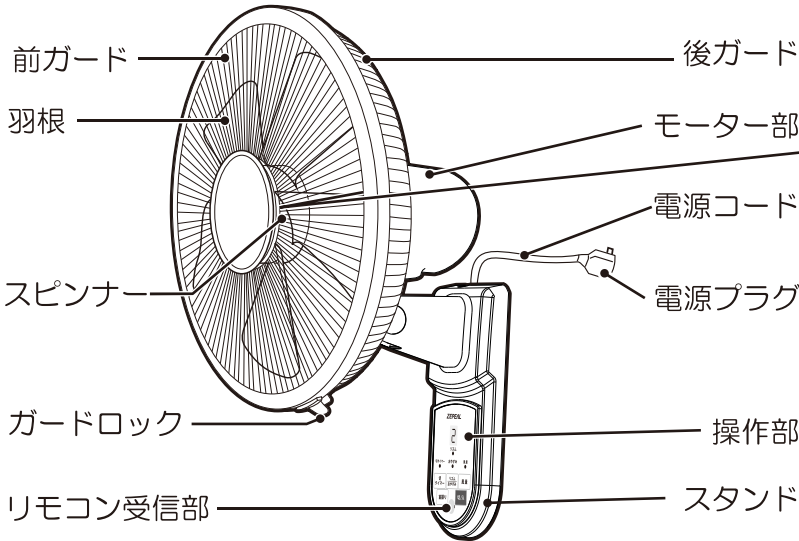
 <p>濡れた手で、電源プラグやコンセントに触らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヤケド・感電・ケガの恐れがあります。 <p>濡れ手禁止</p>	 <p>カーテンなどを吸い込んだり、首振りがかたまげられたりしない安定した場所で使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予期せぬ事故につながる恐れがあります。
 <p>梱包用ポリ袋などは、幼児の手の届かなくところに保管する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被るなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の原因になります。 	 <p>お手入れの際や使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ケガやヤケド、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
 <p>転倒や落下による羽根破損に注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体の転倒や落下により羽根が破損する恐れがあります。使用中には十分にお気をつけください。 	 <p>異常時（大きな騒音や振動など）は、運転を中止して電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お買上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。 ●異常のまま運転を続けると故障・感電・火災の原因になります。

注意

 <p>次のような場所、環境では使用しない故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外 ●水がかかったり温度が高かったりするところ ●有機溶剤を使用しているところ ●異常な高温・低温などの環境 ●ホコリや金属片の多いところ ●油・引火性のものがあるところ ●火気など熱源の近くや直射日光のあたるところ 	 <p>電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 <p>※電源コードを束ねてある結束バンドは必ず外してご使用ください。</p>
 <p>本体の隙間にピンや針金などの金属物や異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電や異常動作して、ケガや故障する恐れがあります。 ●異物が入ったときは、使用を中止しお買上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。 	 <p>運転中に電源プラグをコンセントから抜かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・故障の原因になります
 <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・発火の原因になります。 	 <p>洗濯物の乾燥にご使用される際は、洗濯物が飛ばないようにしっかり固定する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●予期せぬ事故につながる恐れがあります。
	 <p>製品は定期的にお手入れをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホコリや汚れがたまると、発火・発煙などの恐れがあります。
	 <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショートして発火する恐れがあります。

各部の名称

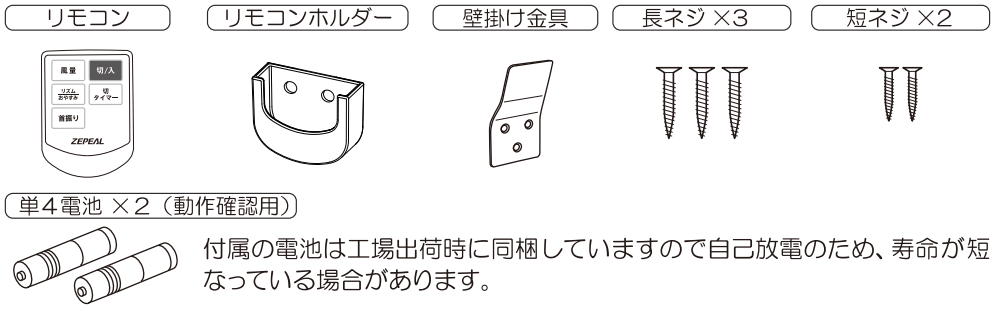
本体



首振り角度 左右(自動)約70度

●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

付属品



使い方



使用中（羽根の回転中）に、ガードを持って、上下・左右に風向きを変えない
 ●ガードを持って操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

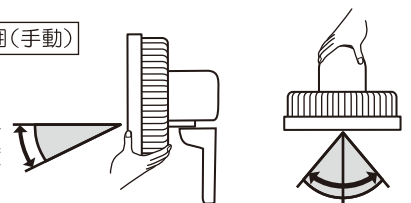
風向調節の仕方

運転を停止して羽根が止まっていることを確認してから
 スタンド部を軽く押さえて、ガードを上下・左右に動かしてください。

●カチカチと音が出る範囲内で調節できます。

可動範囲(手動)

水平
約35度



左右最大約70度

※風向きは水平以上の上向きに風向調節はできません。

組み立て方



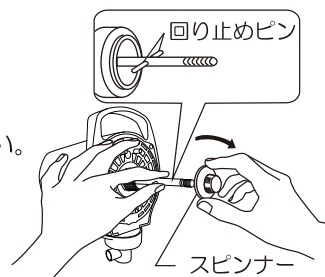
- 梱包部材は製品を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピナーはネジ山に注意し、傾きのないようにしっかり締め付けてください。
- 羽根をつけずにモーターを運転させないでください。温度過昇防止装置が動き使用できなくなり、ヤケドやケガをする恐れがあります。



- モーター部は、ガード・羽根を取り付けない状態では、モーターの重量バランスにより水平に近い角度となります。
- 本体にガード、羽根を取り付け、組み立てを完成させてから壁掛け金具に取り付けてください。

1 スピナーを外す

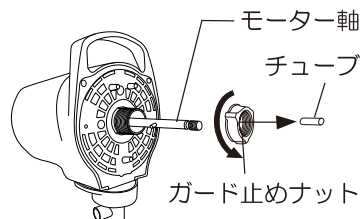
- 片方の手で回り止めピンを押さえて回らないようにして、もう片方の手でスピナーを時計回りに回して外してください。



2 チューブを外し、ガード止めナットを外す

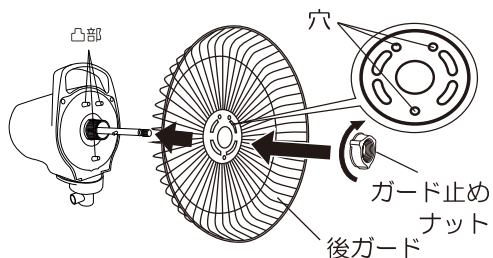
- チューブ（モーター軸のさび防止用）を前方に引き抜いて外してください。
- ガード止めナットを反時計回りに回して外してください。

※ガード止めナット、スピナー、チューブは保管の際、モーター軸に装着してください。



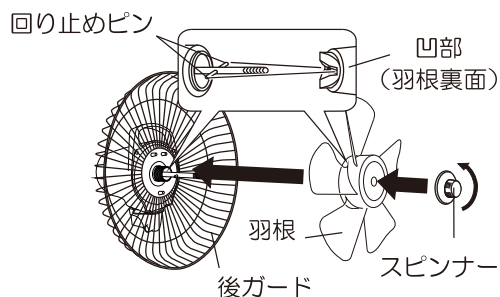
3 後ガードを取り付ける

- 後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差し込み、ガード止めナットを時計回りに回して、確実に締め付けてください。



4 羽根を取り付ける

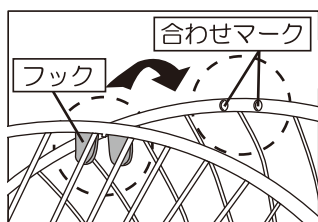
- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏面の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込み羽根を押さえながら、スピナーを反時計回りに回して、確実に締め付けてください。



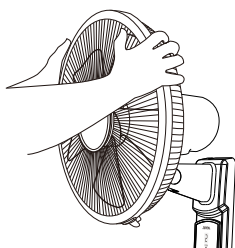
組み立て方

5 前ガードを取り付ける

- 1 前ガードの「フック」を後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込みます。

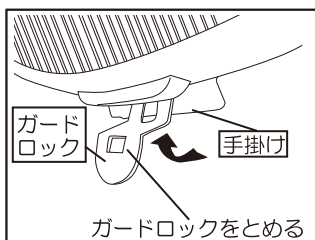


- 2 前ガードを後ガードに被せるように上から順に前ガードを押さえながら、前ガードの全周を確実にはめ込んでください。

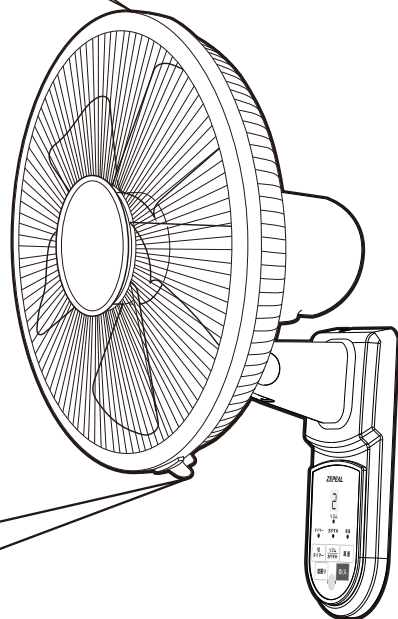
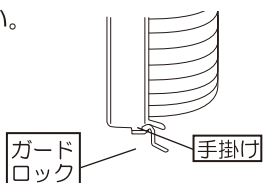


前ガードをはめ込むときは力を入れすぎない
●ガードが変形する恐れがあります。

- 3 ガードロックを強く押し込んで固定します。



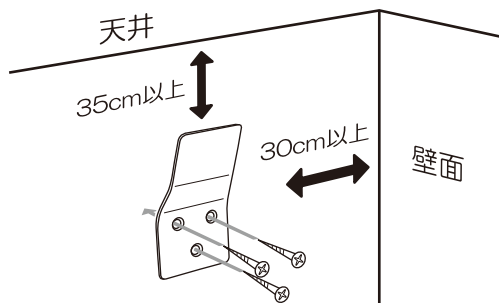
- 4 ガードロックが下図の位置にくるように固定してください。「パチン」と音がするまで確実に強く押し込んでください。



取り付け方

取り付け場所・取り付け位置

- 取り付け場所は本製品の重量に十分耐える場所
(丈夫で垂直な板壁)を選んで取り付けてください。
- 首振りさせたとき、ガードが天井や壁などに当たらないところを選んでください。
※壁掛け金具は天井から35cm以上、左右の壁から30cm以上離してください。
- 本製品は床面に対し、水平かつ垂直になるように取り付けをご使用ください。
- 取り付け場所によっては、モーター音と壁とが共鳴する場合があります。

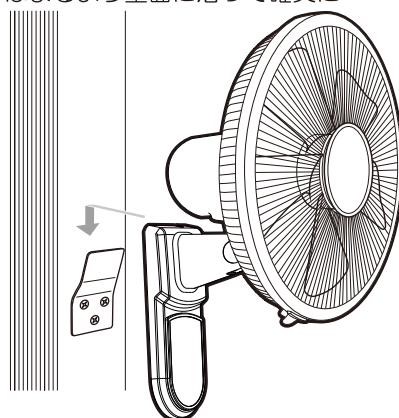
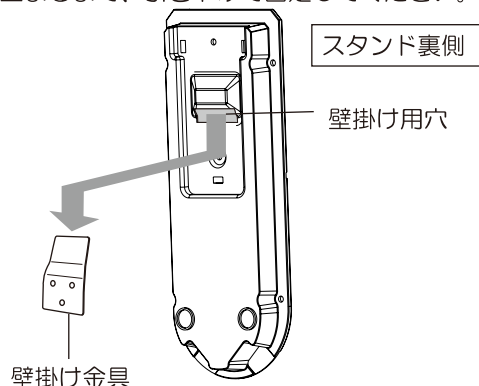


※取り付ける壁の材質により下記の通り取り付けてください。

壁の材質	使用金属	取り付け方
<ul style="list-style-type: none"> ●木壁 ●厚い合板壁 ※落下防止のため壁面が10mm以下の木材あるいは軟弱な新建材の場合は、必ず裏面に柱あるいは桟(さん)のある丈夫な場所に取り付けてください。 	付属品…壁掛け金具 長ネジ×3	付属品の壁掛け金具と長ネジ×3を使用して、壁に直接取り付けください。
<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート壁 	付属品…壁掛け金具 長ネジ×3 市販品…コンクリート用プラグ ※市販のコンクリート用プラグは耐過重を考慮に入れてください。	市販のコンクリート用プラグを壁に打ち込んでから、壁掛け金具を取り付けてください。

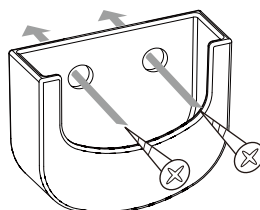
本体の取り付け方

本体裏側の壁掛け用穴に、本体用壁掛け金具のツメがはまるよう壁面に沿って確実に止まるまで、引き下げて固定してください。



リモコンホルダーの取り付け方

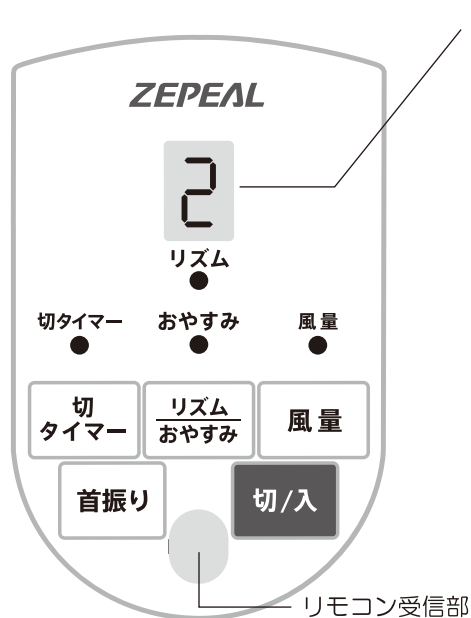
- 本体の取り付けと同じように、リモコンホルダーを短ネジ(×2)で取り付け面が垂直になるようにしっかりと取り付けてください。



操作の仕方

操作部

- 運転する時は、最初に「切/入」ボタンを押してください。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いたりした場合は、「切」の状態になりますので、初めから操作をやり直してください。
- 操作部の一部とスタンドの一部が暖かくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。



デジタル表示ランプ

※安全と節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
運転をしていなくても、わずかな電力(約1W)を消費します。

切/入

「切/入」ボタン

「切/入」ボタンを押すと運転します。
もう一度押すと停止します。

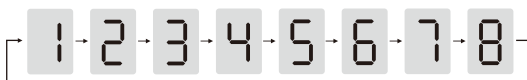
風量

「風量」ボタン

「風量」ボタンを押すと風量が順送り
で変わります。デジタル表示ランプを
見ながら操作してください。

最小風量

最大風量



首振り

「首振り」ボタン

「首振り」ボタンを押すと、首振りを開始します。もう一度押すと停止します。

リズム
おやすみ

「リズム/おやすみ」ボタン

「リズム/おやすみ」ボタンを押すたびに右図のように
設定が切り替わります。

「リズム/おやすみ」表示ランプ



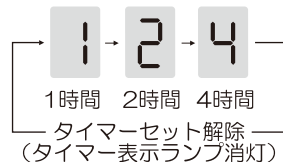
切
タイマー

「切タイマー」ボタン

「切タイマー」ボタンを押すとタイマー表示ランプが点滅し、
タイマー時間が順送り
で変わります。
デジタル表示ランプを見ながら操作してください。

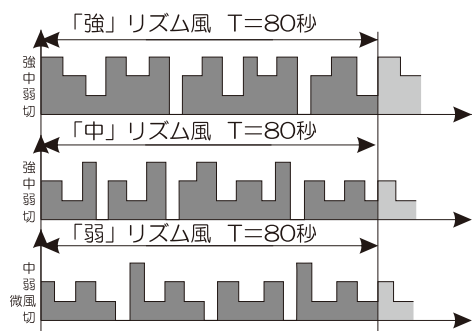
- 一定時間経過しますと、タイマー表示ランプは点滅から点灯に切り替わり、デジタル表示ランプは風量の表示に戻ります。
- セット時間に達しますと、タイマー表示ランプが消灯し、自動的に運転が停止します。
- タイマーセット後、再度「切タイマー」ボタンを押すと、デジタル表示ランプが点滅し、タイマーの残りの時間を表示します。

タイマー表示ランプ
点滅中に操作



操作の仕方

「リズム」風量パターン

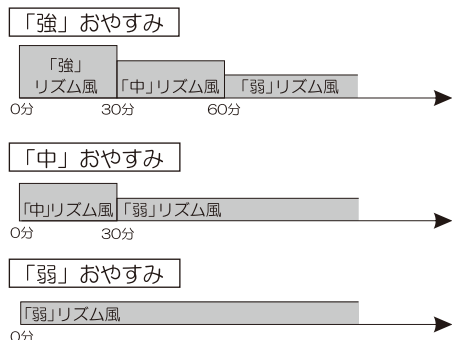


●微風・弱・中・強の各風量設定ごとに、風量がリズムカルに切り替わります。(左図参照)

※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。

※運転時は、羽根が止まる場合があります。

「おやすみ」風量パターン



●設定された風量から、30分ごとに自動的に風量を下げます。(左図参照)

※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。

※自動的に運転を停止する設定ではありません。

切タイマーを併用してのご使用をおすすめします。

快眠を誘うように徐々にやさしい風量に変化します(弱リズム風の場合は、弱リズム風で運転を続けます)。

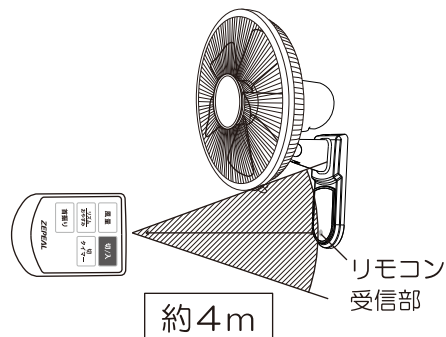
メモリー機能について

- 風量の設定を機能停止後も記憶保持している機能です(タイマー時間はメモリーされません)。
- 電源プラグを抜くと風量設定の保持は解除されます。

操作の仕方

リモコン

- リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて、「切/入」ボタンを押してください。
- ボタンの機能は本体側と同じです。
- リモコンの使用できる範囲は約4mです。



- リモコンの送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを2個同時に押さないでください。
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

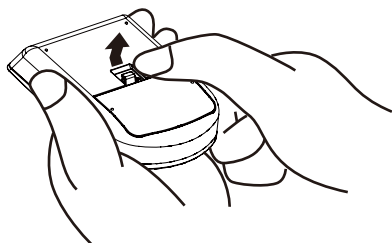
※次の場合、リモコンの操作ができないことがあります。

- 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物がある場合。
- インバーター照明器具などを使用している場合。
- 本体のリモコン受信部に直射日光などの強い光が当たる場合。

電池の入れ替え（単4電池×2）

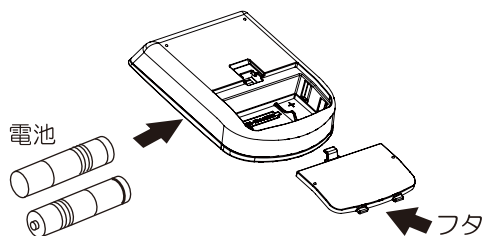
1

リモコンの裏面の下部にあるフタを矢印の方向に引き出します。



2

「+・-」の表示に合わせて電池を入れ、フタを閉めます。



- 動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 液もれによる故障の恐れがあるため、長時間使用しないときは電池を取り出してください。
- もし液もれが起こった場合は、液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 使用済みの電池は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従って廃棄してください。
- 「+・-」を正しく入れてください。

お手入れと保管



羽根・ガードをつけずにモーターを運転させない

●ケガをする恐れがあります。

濡れた手で、電源プラグやコンセントに触らない


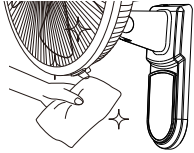
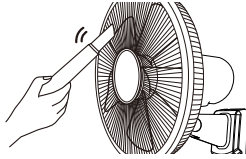
●ヤケド・感電・ケガの恐れがあります。

お手入れの際や使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

●ケガやヤケド、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

- 羽根・ガード（前・後）にホコリが多量に付着していると異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組み立てと逆の順序で分解し、お手入れしてください。
- ガードが正面に向かない場合は無理に戻さず、首振り運転で正面に向けてください。

お手入れについて

電源プラグ		長時間ご使用になると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
本体		汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。シンナーやベンジンで拭かないでください。
ガード 羽根		ホコリは掃除機で吸い取ってください。

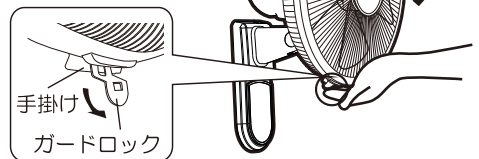
※水や中性洗剤以外では拭かないでください（樹脂や塗装部分が変色、変質する恐れがあります）。
※殺虫用、整髪用などのスプレーをかけないでください。破損・変質の原因になります。

前ガードの外し方

- 壁掛け金具から外してから作業してください。
図のようにガードロックを外し、前ガードを上から押さえ、手掛けを手前に強く引きます。



前ガード・ガードロックは、運転中に外れないように固定しています。外すときに少しかたく感じますが、そのまま強く手前に引いてください。



《保管について》

- 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。
- モーター軸の汚れを取ってミシン油をうすく塗り、チューブを被せてください（さびの防止）。
- 梱包ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

長年ご使用の製品はよく点検を

★こんな症状はありませんか？

- 電源を入れても運転しない。
- 羽根が回っても回転が遅く、不規則。
- モーター部が異常に熱い。
- 異常な音がする。
- コゲくさいにおいがする。

★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて事故防止、
モーターの焼損防止のために必ず
販売店にご相談ください。

長期使用製品について

※本製品は、長期使用製品安全表示制度に基づいて表示しています。

【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示をしています。



【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）

【設計標準使用期間】 6年

設計上の標準使用期間を超えてもお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■標準的な使用条件 日本産業規格(JISC9921-1)及び
(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	単相交流 100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設定条件	標準設置（製品の取扱説明書による）
負荷条件		定格負荷（風速）（製品の取扱説明書による）
想定時間など	1日あたりの使用時間	8(h/日)
	1日使用回数	5(回/日)
	1年間の使用日数	110(日/年)
	スイッチ操作回数	550(回/年)
	首振り運転の割合	100(%)

●「経年劣化」とは

長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化のことです。

アフターサービス

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、まずはお買上げの販売店または当社サービスセンターへご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り、第三者への開示または提供は致しません。

仕 様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力(強風時)	18W
製品質量(約)	2.3kg
電気料金の目安(強風・首振り動作時)(約)	0.5円/時間

- ※電気料金は目安単価（1時間あたり27円：1kWh=1000Wh）で計算しています。
電力会社及びご家庭の電力使用量、ご契約内容、器具などの使用条件により金額は異なります。
- 製品の品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....


.....

.....

.....

 株式会社 電響社

サービスセンター（製品の使い方や修理などに関するお問合せ）

 **0120-070-440** [受付時間] 10:00～12:00・13:00～17:00
（土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く）

住所：〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号（電響社サービスセンター） FAX:075-681-0886